



注
 本欄は讀者諸氏の利用に提供す、治安と風俗とを害し又は人身攻撃に涉らざる限り奇想天外的の寄稿を望む、一文は四百字位にて取捨は編輯子に一任、原稿は道路の改良編輯部宛のこと。

我國民力は疲弊し

行くか

新聞と云ふ新聞が高橋藏相の愛國の熱情を讚賞した記事が客年十一月の末頃目に映じた、夫れは昭和十一年の國の歳入出豫算に關しての閣議の席上「わが國は由來資源に乏しく列國に比して國力極めて貧弱な國柄である……わが國は今や商業貿易に於て到る所に目ざましき躍進を爲して居る、之が爲に世界各國は日本に對し反目し全く孤立無援の状態に居る、故に吾が日本として克く其の國情を反省すべきである、豫算も國民の所得に應じて作らねばやがて國力は疲弊し國民は塗炭の苦みに陥りいざ鎌倉と

いふ場合に敵國に對して、應戦は出來ない。此場合の餘裕は十分に培つて置かねばならぬ、殊に最近のわが國內の情勢は年々災害を重ね民力は疲弊して行くばかりでなく社會政策的施設等につき多大の考慮を要する時である、……今日の軍部に對しては言論機關も言ひたいことをいへない、財界人も之は困つた事態と思ひながら何も言ひ得ない、一體此の情勢をどう見てゐられるか云々」と論述せられ、夫れで世間の調子が一大感動を興へられたのである、我財政危機の行詰りの場面に於ての閣議は此老藏相の熱誠をこめた一言、他の何人も言はんと欲して言ひ能はぬ訓戒の辭は克く明年度の豫算を編成せしめた、其の得られた結論は豫

算總額二十二億七千二百萬圓、公債六億八千萬圓、老藏相は速に金融資本代表としての貫録を示し軍費合計十億五千九百萬圓豫算總額の四割九分をしめた、編成難の經過は軍需費調達のため各省があげてその財源を叩く芝居にすぎなかつたのだ、然し日本經濟の現状における好況維持はこれで約束されたわけである、協力豫算は世の好評を得た、政府反對黨の之に對する策動はどうであるか、選挙の影響も決して少くないさすがに高橋老藏相は我國の柱石で國寶である。(夏木生)

人口のふえるのは
 自慢にならぬ

客年十月一日施行の國務調査の結果を見
ると全版圖の總人口は男四九、二四〇、六
五九、女四八、二四〇、六五九總計九七、
六九四、六二八（世帯數一九、七六一、四
七三、一世帯平均五人強）で之を十年前即
ち大正十四年調査の總人口八三、四五六、
九二六に比すると一四、二二七、六九九の
増加で五年前の昭和五年調査の總人口の九
〇、三九六、三九六、〇四三に比し七、二
九八、五八五を増加して居る、已往十年間
では一年平均一、四二三、七七〇最近五年間
の一年平均は、一四五九、七一一である如何
に増加率の甚しのか最近に於て更に加増せ
るかを見るのであるが民力の増加は如何、
高橋老藏相が疲弊し行く民力と言はれたの
も實に一家言である、産業を振興せべく、
精神的に興起すべきものであらう。（森生）

自轉車乗を嚴制せよ

自轉車乗の無智無謀な横暴振りは屢々本

誌上でも主張することがあつた、他の雜誌
でも八ヶ間敷論ずることを見受けられた、
昨冬東京では自轉車乗の訓練まで行ふた、
道路の左側を一列に乗れと教へた交叉地點
では必らず停止線内でストップせよと示し
たが何がさて交通巡查の姿が見へなければ
信號も何のその、急ぐは己れ獨りであると
計り疾走する、電車が停車しようが自動車
がストップしやうが、歩行者がまご／＼し
て居らうが一向にかまひなしである、牛込
の區役所前での小學兒童六人の即死事件の
生ずるのも當然である、横暴な自轉車乗り
と其雇主とに對して嚴重に制裁を加へねば
交通の不安は除去せられない、電車軌道上
にS字型の乗廻はしや横丁から疾走し來つ
て自動車の運轉手を狼狽さする、自轉車乗
の大僧小僧に對して取締上重き處刑が必要
であらう、何んとか考案せられたいもので
ある。（外櫻生）

どうして模範村と なつたか

千葉縣香取郡新島村に「新島村自治會」
がある他に類例のない特殊機關として活動
してゐる、同會は約三十年前全村民を網羅
して組織され高安宗悦氏が會長となり村會
と協力して村公共事業に對する奉仕、交通
路整備、治安衛生の保全、生活の改善、選
舉肅正、納稅獎勵、教育の振興等あらゆる
方面で實行を申合せ自治的に村民生活の向
上をはかつて來た、申し合せを破ると徹底
した制裁が加へられる、會の積立金は千
十八圓に達してゐると云ふ事である、政府
當局より持導獎勵を受けて餘儀なく爲すよ
りも自發的に發動してこそ其處に健實さが
あり向上性がある、強制的な雷同的な企圖に
は實力が伴はないので恒久性が乏しい、自
彊息まさる底の確實力がない、民力の涵養
は國民の自發的活動に基調せねばならぬと

信ずる。(若生)

交通事故の科學的

探究なるかな

交通事故は文化社會の痛である、殊に快
走力を特質とする自動車の加速度的發達は
都會といはず田舎といはず其事故の發生に
不安と恐怖を感じしむること甚しく、さら
でだに神經過敏性な日本人をして神經衰弱
症に罹らしむるにはあらざるかと憂へしむ
るのである、所が最近倉敷勞研で興味ある
科學的探究を行ひ其結果を發表したが其の
中に

A、運轉上の不注意三十九% 1、一方的不
注意二十% 2、注意の集中不足十二%

3、注意はあるが大膽七%

B、行人人側の不注意二十% 1、注意の分
配不足十一% 2、集中不足五% 3、通行
人の大膽四%

C、運轉上の過失四十一% 1、操縦をあや

まる十五% 2、心身の不調和四% 3、機
械の不完全三% 4、睡眠不足三% 5、未
熟練三% 6、道路の不可抗力二% 7、不
明十一%

とある中々有益な資料と思ふ各地に於ても
斯様な有益な研究を行つたなら交通界に寄
與する効果大のなるものがあらう。

(大和生)

時勢は如何に動き

つゝあるかをどう

讀むか

「近頃社會問題を論ずる程の人々は何か云
ふと直に指導理論は何だ、政策は如何だと
尋ねる、氣が利いた様で實は愚かなこと
だ」と公言して居る安岡正篤氏が「時勢は
如何に動きつゝあるか」と題して其の意見
を公表せられたものがある、或知人から君
はあれを讀んだかと問はれたのでそれは何
かと反問した處が舊國維會の頭目金雞學院
の指導者安岡正篤氏の新官吏道の指導精神

だよ設令役人の最下位に在るものでも苟く
も公務に従事する者は一讀は愚か三讀も四
讀もするが良いと言はれたのであつた。其
説く所日本精神、時代的反省の過程、東西
民族性の相違、東洋民族性の長短、東洋民
族の美的實例、産靈の思想、「むすび」と
「まいり」、日本民族性の本質、日本民族の
象徴、支那民族の理想主義、國故の學、包
容と反目、朝鮮病患者、根本的の誤謬、任
用と産靈と分類して説きも説いたり論じも
論じたもので感服不感服、理解不解の處
もあるが「古來より日本にも困つたこと
に、國學者といへば漢學者を排斥し、漢學
者は國學者を排斥し、また基督教と神道は
相反目するといふやうに、いつも相對的な
立場に立つて異民族文化に反感を持つやう
な所謂日本主義者、日本精神論者が今尙存
在するやうである」と看破し「思想、學問
上に於て正しく相争ふことはよいが感情上
の嫉視排擠から殊に異民族に對してこれを
無反省に驕慢に行ふに至つてはその害實に

測るべからざるものがある、今日憂ふべきことは、心無き人々が安りに日本主義、王道、皇道を振り廻はし、他國に驕ることであり」と半可通の自稱愛國者流に鐵如意を加へたるところはさすがに安岡氏であると敬服したことである、希くは自愛以て我國民を自覺めしむる爲めに大いに警鐘を打たれよ。(好國生)

鐵道省側果して内務に挑戦するか

頃日仄聞する處によると大久保彦左衛門の名義で「道路の改良」第十七卷第十號誌上に「憎まれ口を叩く」と題した中に「省督パスの横暴を排撃せよ」と論じた一文が鐵道省當局の激怒を買ひ内務當局の態度を徹底的に究明せんと意氣卷いて居ると報ぜられた、だが、客年の土木主任官會議の席上鐵道省の管自動車課長の高慢不遜と見られた言辭態度が甚しく内務側の悪感を招いた

のに其の動機がある、誰か烏の雌雄を知らんやと某内政新聞記者が評しておつた、人の樞で角力を取ることさへ制止すればアツハ、となるのは請合ひだ、山の烏が啼いたとて泣いちゃいけない、泣くぢやない。(木工兵衛)

地方交付金は果して地方自治體をして強得るや

近時地方自治團體が其の財力を減退し國府縣事務は勿論團體員の幸福増進の自治行政を處理し得ざる窮境に在るので國費を以て之を援助するの必要を感じ朝野其の叫び聲を聞くのであるが、今次昭和十一年度豫算編成に際し臨時町村財政補給として交付する方針を定められたと傳へられて居るか果して之れに依つて町村が其の自治力を復興して躍進日本の國勢に追隨して活動し得

るに至るべきであるうか、將又地方團員をして自力更生の途を辿り得るに至らしむることであるうか、今其の要項と云はれておる處を見るに、一、財政特に窮乏せる町村に對し國庫より財源を補給し以て窮乏の緩和を圖るを目的とし、二、其補給金額を年額二千萬圓とす、而して三、補給すべき町村は町村稅負擔過重なるもの稅源の涸渇せるものを受給町村として、四、配分標準を定め、五、事情に依り補給金交付額に制限を加へ、而かも六、指導監督の方法を定め七小學校費臨時國庫補助金及國庫負擔金との關係を明確にして參酌する、八、臨時市町村財政補給金審査會を設けて補給金の配分に關する重要事項を審査せしめて其の公平を期すると云ふことである、窮乏せる町村に取りては大旱の雲霓を望むが如き状態であるう、だが補給をのみ希望して自力更生の精神を喪失してはならない。(倭生)